

事業所名

放課後等デ「イサ一ビ」ス あお

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2月

1 目

法人（事業所）理念		当施設のコンセプトといたしましては、まずは、【経験】を重視したプログラム構成を取り入れております。お子様の自己肯定感を伸ばす事や可能性を広げる為に様々な体験を通じて経験を増やし、物事に対する視野を広げ、俯瞰的に判断できるようにサポート致します。					
支援方針		一般社団法人北海道障がい者共生協会が設置する、放課後等デイサービスあおにおいて実施する障がい児通所支援の児童発達支援・放課後等デイサービスの適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、児童発達支援の円滑な運営管理を図るとともに、障がい児及び障がい児の保護者の意思及び人格を尊重し、障がい児及び通所給付決定保護者の立場に立った適切な児童発達支援の提供を確保することを目的とします。					
営業時間		9 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	生活における必要な能力を学び、伸ばすプログラムを設定しております。このプログラムでは、健康的な生活の基本となる食事の習慣を促進し、言語聴覚士が設定した口腔内機能や感覚の育成を支援いたします。また、睡眠、食事、排泄などの基本的な生活リズムを身に付けるためのプログラムも用意しております。					
	運動・感覚	現在、【＊火曜日/金曜日】が市内の総合体育館や福祉ふれあいセンター、有料施設等を利用し、【基礎運動】や【球技】などを実施しております。主に体力増加および筋力増加を目的としたプログラムを設定しており、年齢や体格、技術に応じて楽しく活動に参加できるようにクラス分けや基礎トレーニングを行い、自信を身につけられるよう配慮いたしております。 ＊予約状況により曜日の変動あり					
	認知・行動	毎週月曜日には【プログラム】を実施しており、学年や能力によって【アンパラドプログラム】や【パソコン】を取り組み、物事の仕組みや流れについてのイメージを持つ事ができるようにプログラムを設定しています。現在は、【ルビィの冒険】：基礎になるプログラム学習や【パソコン】：名刺作り（外出先で手作りの名札を下げる事や初対面の方への挨拶として名刺を用意する）などを目的に活動しています。					
	言語コミュニケーション	個々に配慮された場面における人との相互作用を通じて、共同注意の獲得を含むコミュニケーション能力の向上を目指し、都度クラスやグループを構成しております。毎週水曜日には、言語理解やコミュニケーション能力の向上を目的とした【SST（ソーシャルスキルトレーニング）】や【ABA（応用行動分析学）】を実施し、実際にロールプレイを通じて他者理解や言語理解を深める学習時間を設けております。					
	人間関係 社会性	主に【言語/コミュニケーション】で人間関係の構成力を身に付けていきながら、実際に集団に参加しながら手順やルールについて理解を深め、遊びや集団活動に参加できるための環境やプログラムの設定を行い、適切なプログラムを提供できるよう努めております。 社会的なルールについて学ぶ機会を得て、理解を深めるために、実践的なプログラムとして外部活動を取り入れています。この活動は、さまざまな方々と触れ合い、コミュニケーション能力を伸ばすことを目的としています。					
家族支援		子育てに関するご相談やご家庭の状況の共有を通じて、より良いサービスを提供できるよう、家族との認識を統一し、課題に向けた療育を整えております。また、必要に応じて家庭訪問を実施し、ご家庭の様子を把握することに努めております。				移行支援	様々な方からの協力を頂ける事によって職業体験や就労継続支援施設への訪問・体験等を行なう事でご家族の視野や本人の経験に繋がる為、更なる移行支援の幅を広げていき、家族の選択の幅を広げる事ができるようにより整える必要がある。
地域支援・地域連携		必要に応じて学校教諭や相談支援事業所との連携を図り、児童についての情報共有を行ない、適切な療育の設定や成長や課題に関して統一する事が出来るように環境や記録等を整え、日々プログラム内容を精査しながら提供しています。				職員の質の向上	強度行動障がい（基礎・実践）を取得 苫通連への参加、自立支援協議会への参加 経験等によりスキルアップに必要な研修を適宜受講 など
主な行事等		毎週土曜日は【イベント】を設定しています。 春：親子クッキング等、夏：キャンプ・親子バーベキュー等、秋：親子ちゃんちゃん焼き・オタマシーツ等、冬：クリスマス懇親会・ウィンタースーツ等					